	2025全国大会 口頭研究発表/展示研究発表の内容要約集							
	口頭免疫(40億) * 申込み順							
氏名 +敬称略	所属	免表テーマ	共同研究者 +敬称略	免疫内容の変的				
白坂 文	大阪夕陽丘学園短期大学	関西大阪万博における着物ショーへの取り組み 一大阪着物プロジェクトとの産学連携の取り組み一		大阪・関西万博フェスティバル・ステーションにて、大阪府美容生活衛生同業組合主催のショーが開催された。そのオーブニングアクトとして、本学ファッションデザインコースの学生が自作の派衣でランウェイを多いた。この産学連携の取り組みにつて報告する。				
丸山 美幸	大阪文化服装学院	授業資料革命: 教員必見! 無料デジタルリソースの活用方法		教員向けに、無料のデジタルツールやAIを活用し、簡単でお洒落な授業費料を作成する方法を解説。これにより、作業時間の短縮とデジタルスキル及び学生の学習意味向上が計れます。				
望月 美穂	文化ファッション大学院大学	300L0を用いたドレーピングの再現性に関する研究		300.0によるドレービングで衣服道形の再現性を検証し、実命との差異を研究する。また、サブストラクション・カッティングを3Dに応用し、再現性と実布との違いを検証、3Dにおける衣服造形可能性を研究する。				
山本 ひとみ	神戸国際大学	循環型経済におけるファッションの文化的実践と原点回帰の可能性		本研究では、江戸時代と現代におけるファッションの韓国的実践を比較し、両者に共通する文化的要素を抽出することで、持続可能性の様本的な概念としての「原点回帰」の重要性を明らかにすることを目的とする。				
鈴木 康久	杉野服飾大学	トレンドカラーの周期性に関する定点調査 ~トレンドカラーの回帰性調査~	窪田 純奈 (学生)	本研究ではファッショントレンド構成要素の主要素となるカラーに着目し、その出現本や周期性に関する調査・検証を行っている。主調査は2018年~2025年の7年、全14シーズンに関する調査・研究を行い分析を行っている。				
田村 宏明	田村宏明公認会計士事務所	ラグジュアリーファッションビジネスと化粧品ビジネスの関係及び今後の展望:ケリングーロレアル取引事例から		大手ラグジュアリーコングロマリットの化粧品事業への選出から撤退、そして今後の展望について直近のケリング・ロレアルの取引事例を用いて論じる。"ラグジュアリー大手の化粧品分野への進出"の今後の課題となっていた部分を補填する内容。				
福永 成明	(有) ファッションリンクス	歴史に見るファッション・イノベーション		ファッションの歴史は古代にさかのぼる。そこでは流行が織り返され、今日に至っている。そうした進化の源泉となるファッション・イノベーションをさぐる。				
若月 宣行	文化学團大学	3Dバーチャルシミュレーションを活用した配色柄ニットにおけるカスタマイズ生産の検討	柏本 珍 小林 未佳	一般消費者がニットデザインソフトを操作し、30パーチャルシミュレーション上でオリジナルの配色柄をデザインするカスタマイズ生産のワークフローを構築し、実証実験を行って実用性や課題等を検討した。				
青柳 菓子	香蘭女子短期大学	化粧品業界の会計		化粧品業界は、アパレル業界と類似している点もある。その一方で、化粧品業界の特徴や高的機習も存在するといわれている。本報告では、化粧品業界の概要と収益認識について考察する。				
山田 悠大	株式会社情報の森	居場所としてのファッションについて 一ファッションをかえる居服構想一		ファッション業界が苦境にある原因を産業構造・消費構造の両面にあると捉え、解決の中様となる価値観として原場所性を掲げる。当人が思場所性を感じる特別な趣のことを「思醒」と定義する事業についての研究免表。				
馬塲 正実	桜美林大学	AIエージェントが切り拓くファッションビジネスの未来		1991年のビーク類から大幅に縮小した我が国のファッションビジネスであるが、業界の喜点化をリードする上位企業には共通する企業観路が存在する。Alエージェントは、変化に対応し、ファッション企業の未来の鍵を握る。				
秋光 淳生	放送大学	一般教養としての衣生活リテラシーと着装行動基準に関する一考察		デジタル消費行動の拡大により、販売員の助言なしに水根を購入する機会が増えている。衣生活に関する基礎的知識が着装行動にどう関わるかを調査し、衣生活リテラシー教育の有効性と可能性について検討する。				
平野 大	国際ファッション専門職大学	経営資源としての技術継承とブランド・ヒストリー:ラグジュアリーブランドの持続的競争優位性構築メカニズム		ラグジュアリーブランドにおいて、技術概果とブランド・ヒストリーが不可分な関係にあることを経営学的機点から検証した上で、これらの要素が特殊的競争優位性を確立するメカニズムを明らかにしていく。				
青木 智美	文化ファッション大学院大学	社会貢献意欲向上につながるキャリア教育方法の考察-日本のファッション業界就労者へのアンケート調査分析から-	勝又 淳司	ファッション業界の持続可能性向上には社会資務意欲の高い人材が必要である。本研究はファッション業界の実務経験者向け調査で意欲向上の到表更図を分析し、効果的なキャリア教育方法の考察結果を報告する。				
全 明君	文化学團大学	日中翻訳における服飾専門用語の課題と解決策 ―ファッション教育現場の視点から―	西村 晋	本研究は中国語における屋装関連用語が統一されていないことが地域やテキストによる「ブレ」を引き起こす原因を明らかにし、教育効果の高い服飾専門用語の日中翻訳を行うための需意点を調査することを目的とする。				
奴 志遠	無所属	美容雑誌の化粧品広告における日本女性の「美しさ」		英容雑誌に掲載された化粧品店告の言葉表現を分析し、現代日本女性が理想とする英の具体的な表現や特徴を明らかにする。広告に反映された価値観や表現を通して、日本社会における女性の美意振の変化を寄寄する。				
郝 水麗	文化学團大学大学院	現代中国における政治的身分とファッション行動の関係 ―共産党員と非共産党員の比較を中心に―		本研究は、現代中国社会において政治的身分とファッション行動という日常的な文化的実践との関係に着目し、共産党員が否かという政治的属性が個人のファッション行動に及ぼす影響を明らかにすることを目的とした。				
松岡 依里子	東京家政大学	SNS時代のルッキズムとボディ・イメージ ーZ世代の着装行動への影響―	松原 なつみ (学生)	工世代への調査とり、3MS・マスメディアによるルッキズムの浸透がポディ・イメージの歪みと着製行動に影響することを明らかにした。特に女性において彼せ難望と体型過大神能が観着であり、韓国エンタメを中心とした「美の基準」の高まりが著者の自己認識と振装選択を変容させている実思が示された。				
平井 秀樹	国際ファッション専門職大学	テクノロジー×ファッションで新たな市場を探索 ~医療現場におけるファブリックスピーカーの適応可能性~	梅木 典子	2025からDesign Thinkingを取り入れた7枚を開始していますが、そのプロセスの紹介と学生のアイディアから生まれた手術側のモックアップサンプル(ストタラシスジャパン制作協力)を展示し、医療現場におけるファブリックスピーカーの適応可能性を考察します。				
テイ シジュン	文化学國大学大学院 修士2年 (学生)	粘性染料液を用いた羊毛布における染色方法に関する基礎的研究	柚本 珍	木服接染から着巻し、粘性染料液により半毛布を加圧染色する方法について、染料液温度、加圧時間、圧力および粘度の影響を評価した。その結果、適切な温度と時間の条件、及び粘度と圧力の相互関係が明らかになった。				
西村 雅子	国際ファッション専門職大学	ファッションブランドの商標による多面的保護		ブランドの保護については、知的財産権による多様な保護を検討する必要があるが、本党委では商標による保護にフォーカスし、特に新しいタイプを駆使した多様な保護、意匠との交籍を意識した保護について検討する。				
関 真也	関真也法律事務所	メタバースにおけるファッションデザインの保護		バーチャル空間のデザイン保護については、著作権法の議論が続くほか、令和5年に不正肢争防止法が行われ、現在では意定法改正が検討されている。創作の自由と適切な保護の間にある近時の議論状況を整理する。				
城田 衣	デジタルテキスタイル研究部会	デジタルテキスタイルを活用したファッション事例研究		デジタルテキスタイルとはデジタルデータをインクジェット等により布に直接するブリント方式です。この方式を活用した新しいファッションの事例を紹介します。				
久保 海斗	大阪文化服装学院	"リアルな感性"が"バーチャル"を動かす ["] 服飾専門学校が挑戦する、キャラクターデザイナー育成プログラム ["]		服飾専門学校がリアルな屋作りの知見やデザイン発想力をデジタル教育と融合させ、印象界で不足している「服装にリアリティ」を与える次世代のキャラクターデザイナー育成プログラムを確立するための研究。				
王 照然	文化学圖大学大学院 (学生)	若年層における若装行動とジェンダー意識:東京都在住のZ世代を対象とした定量調査		本研究は日本の2世代を対象に、社会的・着接携砲を施およびジェンダーを維がファッション側の皮と接い行動をいかに規定するかを完皇的に検討し、併せてジェンダーレス・ファッションへの認知と実態を把握した。				
高野 弓枝	香蘭女子短期大学	温泉を溶媒として浸染した試料の変遷色について		別府温泉を溶媒として浸染し、媒染剤の代替としての可能性について一朝した機器研究である。別府八湯の中でも一番染着性が高かった、明馨温泉を溶媒として浸染したは料の変速色について報告する。				
山岡 真理	文化ファッション大学院大学	ファッション業界におけるメタバース活用の現状		日本のファッションピジネスにおけるメタバース活用事例として、セレクトショップや百貨店の取り組みを取り上げる。若年層観客の獲得、Etや実店舗との連携によるビジネスモデルの転換、および企業が短期的な販売促進のみならず知見の蓄積や競争機位性の確保と いった長期的価値を重視する動向を整理する。				
篠原 航平	国際ファッション専門職大学	井上伝による久留米絣免案の前夜		久衛米耕は伊予禁、備後耕と並び、日末三大耕の一つである。久衛米耕は井上伝(1788~1869)が1800年頃、12~13歳の時に発来したと書われる。耕の技法は括りによるものである。彼女が久衛米耕を発来した出時の校況を寺際したい。				
遠藤 典子	文化学園大学	オートクチュールドレスの製作テクニックにおける動画教材の試作と有効性の検討		オートクチュールドレスのレブリカ衣装理本等の授業資料およびオートクチュールドレスの製作テクニック等の解談動職教材を使用した、模擬授業による教育的効果の有効性を検証した。				
下川 美知瑞	国際ファッション専門職大学	JAPAN GRANDの未来の可能性を探る一中川政七商店の例一	高間 由美子	JAPAM BRAMDの可能性を、中川設士商店という企業を例に、支持される要因を様々な視点から分析して、今後のブランド、店舗の企園開発に活かせるのではないかと考える。				
田口 一子	ファッションビジネス学会 中国地域拠点代表理事口	児島デニムジーンズ産地ダイヤモンドモデル・産業クラスター実態の考察		児島デニムジーンズ産地を対象に、マイケル・ボーターのダイヤモンドモデルを用いて産業クラスターの実施を分析、要素条件・需要条件・開速産業・企業戦略の強みと課題を明らかにし、競争力維持の要因を事務した。				
米井 由美	文化学園大学	理想の〈モボ〉像を求めて―1930年代日中諸メディアにみる男性ファッションイメージ―		1930年代、日中周国においてハリウッド映画の人気が高まった。本研究では、当時の女性誌や画報を用い、ハリウッドスターの受容を分析し、彼らが理想の男性像やファッションの機能として表象された過程を明らかにする。				
川田 知依	文化ファッション大学院大学	3D モデリングにおけるテキスタイル の表現手法一刻纏編一		30CLOとAdobeツールを活用し、30モデリングにおけるテキスタイル表現と再現について研究。今回は刺繍に焦点を当て、デジタルと物理の関面からテキスタイル加工技術の可能性を考察する。				
工藤 雅人	文化学圖大学	史料としてのエフェメラの可能性――文化出版局パリ支局の取材・編集資料を用いた編集プロセス再現		本研究では『後帝』や『ハイファッション』の編集で使われた原稿や写真などの資料をもとに、編集プロセスの一部を再現する。この作業により記事における意象分析とは異なる。雑誌史料の利用可能性を明らかにする。				
長沢 仲也	早稲田大学ビジネススクール	ラグジュアリーブランドの地域別売上の変化一特に日本およびアジアの位置づけー		LVMI、リシュモン、ケリング、エルメス、スウォッチ・グルーブ、ブラダ、バーバリー、モンクレール等のラグジュアリーブランドの財務情報から地域別先上の変化を読み解き、特に日本およびアジアの位置づけを論ずる。				
諸山 七生	杉野学園ドレスメーカー学院	スラックスから考えるジーンズのパターン		学校で学ぶ基本的なスラックスのパターンとジーンズのパターンの速いを考え、スラックスのパターンからジーンズのパターンに展開する力法を従業します。健製力法も動画で紹介。学生指導の参考になれば幸いです。				
山口 大人	一般社団法人日本アダプティブファッション協会	アダプティブファッション - 着衣認知論の観点から -		当協会が主催するファッションショーでは重症も身際審者がモデルを務めている。モデルが攻装(ファッション)を推用することにより、内面の変化が構設できた。その変化について、差衣器知識の観点から毒祭を行う。				
藤井 雅範	株式会社ライトハウス	売り上げがアップするVWD		[WBD] という言葉は知っていても、その解釈は人によって様々。本来は商品の価値を高く伝えて『売り上げをアップさせる』為にあります。その為に商品の魅力を引き出す見せ力や空間作りを行う事なのです。				
高柿 幸江	大阪文化服装学院	『WEAR TO GO?』— 実践型教育によるファッションビジネス×サステナビリティ共創の試み		ELM TO GOT書のの未来を考える』古着の未来を考えるイベントで、学生が企画・WBD・接着を達し廃棄す前の服を再価値化し、企業と共創しながらサステナビリティを学んだ取り組みを報告する				
勝又 淳司	日本女子大学	ファッション業界を志す大学生の就業意識調査 一アンケート調査による多変量解析一		ファッション業界思望学生への調査 (m519) では、絵与・福利厚生・転励なし等の安定が重視され、環境配慮以上にインクルージョンが企業選択要因となる。業界は能力に応じた平等な拠遇を示さなければ優秀層遺出の懸念があることが明らかになった。				

	展示免疫 (6億) *申込み順						
氏名 +敬称略	所義	発表テーマ	共同研究者	角囊内容の姿勢			
藤本 和賀代	德島文理大学	衣服内温度計測による冷え性女性の部位別温め効果の解析		選年増加する女性の冷え性に対し、膝下を中心に複数部位を選める実験で、足免の冷え改善効果を検証した。			
村上 拓也	受知学泉短期大学	ファッションショーにおけるデジタル表現が拓く創造力 (2報) — Webサイト・ロゴの作成と実践効果—	山田 麻由 杉浦 菜穂子 長谷川 えり子	横に続き、新たな試みであるパンフレットのデジタル化について報告する。和69分トの新規リリースとロゴ制作を行なった。アナリティクスの結果を踏まえて、ファッションショーのデジタル表現の創造力を寄察した。			
山田 麻由	受知学泉短期大学	ファッションショーにおけるデジタル表現が拓く創造力(1 報) - プロジェクションマッピングによるデジタル演出の試み-	村上 拓也 杉浦 菜穂子 長谷川 えり子	卒業ファッションショーにおいて、新たな試みとして「ブロジェクションマッピングによる演出」を実施した。バックスクリーンやドレスに映像を授影することで、デジタル技術による新たな規度表現の可能性を探った。			
劉 夢君	文化学團大学大学院 (学生)	ランニングベスト装着による身体負荷が歩行動作に及ぼす影響	松井 有子 佐藤 真理子	歩行時に身に着けるものが、着用者の動作にいかなる影響を与えるかを検討すべく、個性センサ型モーションキャプチャシステムを用い、ランニングベスト装着による身体負荷の有無・程度が歩行動件に及ぼす影響を明らかにした。			
川島 博美	香蘭女子短期大学	短期大学における3DCADソフト「CLO」を活用した授業設計について		今年度、アバレル3DDMBソフト「CLD」を導入した授業を実施し、学生はオリジナルデザインを制作・免衷した。本研究では、今後の授業設計の為に、履修科目や各種検定等、学生の学習歴とCLDの習得との関連性を検証した。			
羽賀 友美	杉野服飾大学	3008モデリングと実布スカートの形状比較・再現性の検証 -サーキュラースカートを用いて-	山川 智子 高橋 芽衣	300G(ELI)で作成したスカートと実布スカートを比較し、形状変化の差異を検証する。自重の伸長変化による布の歪みと掘の形状の変化を測定することによって、300Gの再現性を明らかにする。			
松井 有子	文化学圖大学	熱中症予防に向けた冷覚閾値の部位差に関する研究	坂本 力也 山本 和奏 佐藤 真理子	選年、地球選帳化に伴う延暑化より肺中症患者敷は増加し、対策として様々な冷縮アイテムが市販されている。本研究では、局所冷郁時の感覚の快不快を左右する冷感受性に着目し、冷覚間違の粉ぬ差について明らかにした。			
柳原 美紗子	特定非営利活動法人ユニバーサルファッション協会	スパイラルインナー SpiralMiGUの商品開発	佃 由紀子 錦織 悦子 川村 岳彦	ニットの終行を選手にとり、逆転の発想で生まれた斜めに巻き付くように身体に添うインナー。肌になじむ縛100%。パイアスの布は伸びやすいが、ニットはさらに伸縮性が高く、女性SSからは、男性Bサイズまで着用可能。			